

東日本大震災広島中央保健生協支援対策ニュース

NO. 14 2011. 3. 30 8:30 発 広島中央保健生協対策本部

1. 原発事故で広島県の現地調査報告

原発事故で広島県に現地調査に入った藤原副理事長の報告

- 今回の震災は広域かつ甚大であり、地震・津波・原発事故と地域によって被害が異なる。
- 原発事故被害に関わる地域は住民の不安・動揺・ストレスが大きく、退避や屋内退去の地域では住民が激減し、残された住民に物資や医療・ケアが届いていない状況。
- 原発から 30 キロ圏外の人たちも地域でも広島県では県境まで物資が来ても取りに行かなければならないし、「危険じゃないか」ということで医師が引き上げている医療機関もある。
- 「町・村丸ごと」避難を余儀なくされ、それを一度に受け入れる避難所のキャパシティがなく、一つの町・村がバラバラの避難所となり、役場職員もそれぞれの避難所にバラバラとなっており、町・村のコミュニティが崩壊している。
- 広島県に 15 時間滞在、フィルムバッチをつけて行ったが、測定値で 4 マイクロシーベルト。現時点では、急性被ばくの可能性はなく、覚悟を決めて被災者・復興の支援を行うことが重要。

2. 第4陣(4月10日以降)を募集(40歳以上)医療支援者用の寝袋募集中!

- 1) 3月29日(火)夕方に第2陣が出発(福山院長・生協さえき病院、野田看護師長・生協さえき病院3階病棟師長、万徳検査技師・広島生協病院検査科)
- 2) 既報・第3陣=4月3日(日)~10日(日)広島生協病院南4階病棟の土佐岡さん、院内保育士の長谷川さん。4日(月)午後~10日(日)広島生協病院検査科の児玉科長。
- 3) 3月31日(木)に第3陣を対象とした説明会(オリエンテーション)を行います。
- 4) 医療支援希望者は27名です!(3月29日時点)
広島生協病院: 医師4名、理学療法士1名、看護師6名、検査技師2名、放射線技師1名
生協さえき病院: 医師1名、看護師1名、放射線技師1名、事務1名、歯科事務1名
コープ五日市診療所1名、訪問看護ステーションコープ五日市: 看護師1名
生協歯科ひろしま: 医師1名、衛生士1名
地域包括支援センター: 1名、院内保育園1名、総務部1名、本部: 1名

3. 先週まで寄せられた支援物資は広島県を通じて被災地へ

- 当生協に寄せられている支援物資は広島県を通じて被災地へ届けるよう準備しています。

4. 今週1週間で100万円を

超えるカンパがあつまりました!

理事会は理事報酬をカンパに当てます。

職員は1日分の給与を目安にカンパを。

- また、3月理事会では支部や事業所で寄せられた義援金と一緒に被災地へのメッセージも届ける取り組みを行うこととし、具体化を進めます。
- 各職場は取りまとめて事業所管理部の震災担当者へ、各事業所は毎週火曜日に総務へ集めたカンパを持参下さい。



新潟医療生協の鈴木事務に迎えられた井上さん、五島さん

以上